

空を飛ぶウリのタネ、実



ハネフクベの種子



キクランテロプシス・パルビフロラの果実(左)
とネムリホテイの種子(右)

スイカやメロン、キュウリ、カボチャなどでおなじみのウリの仲間(ウリ科の植物)には、タネ(種子)や実(果実)が空を飛ぶものがあります。代表的なものが東南アジアに自生するハネフクベ *Alsomitra macrocarpa* (アルソミトラ、マクロザノニアとも呼ぶ)で、タネには長さ約15cmもの翼があります。初期の飛行機(エトリッヒ・タウベ)のモデルになったとされ、高いところから落ちるとグライダーのように優雅に空を飛びます。

ハネフクベ以外にも、タネや実が空を飛ぶウリの仲間はいくつもあります。日本には自生しませんが、園芸植物としてネムリホテイ(眠り布袋) *Gerrardanthus macrorhizus* やキクランテロプシス・パルビフロラ *Cyclantheropsis parviflora* などが栽培されます。ネムリホテイはタネの片側に小さな翼があり、マツの仲間のタネのように回転するようです。キクランテロプシスは実が平べったく翼状で、縦向きに回転しながら飛びます。

当館ではハネフクベの実とタネを所蔵しています。展示室では公開していませんが、収蔵庫見学の際などにご紹介しています。

鐵 慎太郎(植物担当)

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう! パオより

